

令和2年度 学校評価書 (江津市立渡津小学校)

学校目標		挑戦・感謝する子どもの育成											総合評価	関係者評価
重点目標	観点	具体策	保護者		地域		児童		教職員					
			評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	記述等(■は来年度に向けての改善点や変更点)			
			(よく考え工夫する子ども) 1 確かな学力の育成	(1)知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	月1回、書き取り会・計算会を実施する。	お子さんは、基礎的な学力(漢字・計算)が身につけている。	3.8	-	-	書き取り会・計算会で合格できるようになりましたか。	3.9	書き取り会・計算会の実施、個別の補充指導の時間の確保等、基礎的な学力を付けるための取り組みを行った。	4.0	○実施曜日を担任の裁量ができるようにしたことでやりやすくなった。再チャレンジも担当を決めたことで、担任の負担軽減に役立った。 ■再チャレンジの基準や記録方法については、改善方法を検討する。
情報活用能力を身に付けるための指導の充実に努める。	-	-			-	-	調べたいことを、資料を探して調べられるようになりましたか。	3.8	図書館活用年間指導計画を活用した。	4.0	○昨年度までの研究成果を生かし、図書館司書と連携しながら各教科との関連を持たせた活用ができています。	A		
学習に役立つ知識を付けるための環境づくりに努める。	-	-			-	-	学びロードに書いてあることが頭に浮かんでいきますか。	3.8	学びロードを作った。	3.8	○環境づくりについては継続して取り組んでいく。 ■児童の考えを反映させるために、掲示内容についてのリクエストBOXの設置や6年生へのアイデア募集を行う。(百人一首、音符、単位など)	B		
(2)思考力・判断力・表現力等 (理解していることやできることをどう使うか)	思考力・判断力・表現力等の育成に視点をあてて、授業改善を行う。	-		-	-	-	-	研究授業の実施、審議、協議を通じ、研修を深めた。	3.8	○様々な教科を対象として取り組んだことにより、教科ごとに異なる見方・考え方について学ぶことができた。 ■指導案審議を早めに行い、教科ごとにチームを作って取り組む。	B			
(3)学びに向かう力・人間性等 (どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか)	書き取り会・計算会に向けてイエベン週間を設定する。	お子さんはイエベン週間の時、毎日家庭学習に取り組んでいる。		3.7	-	-	書き取り会・計算会で合格するように、自主勉強に取り組みましたか。	4.3	イエベンカードを配布し、毎月自主勉強に取り組めるように指導した。	3.6	■イエベン週間は8日間で設定し、記録カードは基本形を各学級で使いやすいようにアレンジして使う。	B		
学校関係者評価	考 察 ・「確かな学力の育成」のための積極的な具体策が継続して行われており、児童の学習習慣・意欲の向上につながっている。 ・児童の学習への満足度を高め、前向きに学習に臨めるようにしていただきたい。『学びロード』の取り組みはとても良い。									改善策等	・特記事項なし			

評価のめやす 評価点は最高5.0 中央値3.0 最低1.0 / A:よくできている B:だいたいできている C:課題がある D:課題が多く速やかな改善が必要

学校目標		挑戦・感謝する子どもの育成											総合評価	関係者評価
重点目標	観点	具体策	保護者		地域		児童		教職員					
			評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	記述等(■は来年度に向けての改善点や変更点)			
			(助け合い思いやりのある子ども) 2 豊かな心のある子ども	(1)知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	渡津小三則(挨拶、返事、靴そろえ)など、望ましい生活習慣の形成をめざす。	お子さんは、挨拶、返事、くつそろえができる。	3.2	渡津小の子どもたちは、挨拶や返事ができる。	4.0	あいさつ、返事、くつそろえがきちんとできていますか。	4.4	委員会活動などを通して、呼びかけや評価を行った。	3.3	○あいさつ運動は成果あり。今後も継続する。 ○放送委員会の放送で、手洗いや生活時間のことなど、生活習慣についても呼びかけがよかった。 ■渡津小三則の「返事」は、教師も児童も意識が弱い。挨拶、返事はするのが当たり前になるよう、声をかけていく。 ■「委員会主催行事の年間計画」や「委員会活動行事は月に2個まで」などの調整を行っていく。
地域の人材、施設、文化等を生かした学習活動の充実を図る。	学校は地域の人材、施設、文化等を積極的に学習に活用している。	3.7			渡津小は地域の人材、施設、文化等を積極的に学習に活用している。	4.4	地域の人や物とふれあい、学習したことから考えたり発表したりしましたか。	3.7	学期に1回は地域を生かした学習に取り組む、地域の良さや課題を考えさせたり発信させたりする活動を行った。	3.3	○コロナの影響により、計画していた活動が思うようにならなかった。2学期以降、感染対策をしながら、できる限りの活動ができるよう工夫して実践できた。	A		
(3)学びに向かう力・人間性等 (どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか)	認め合い励まし合う集団作りに努める。	お子さんは、友だちを思いやり優しく接したりしようとしている。			4.3	-	-	友だちのよいところを見つけ、困っている友だちを応援したり助けようとしていたりする人になろうとしましたか。	4.3	ふれあい給食や全校遊び、縦割り班活動を通して、人間関係作りがなされた。	3.4	○左の欄にある活動は、効果を感じられるので基本的に維持していく。 ■体育館使用で業間は自由に使っているが、人数が増えると事故につながるがあるので、使用学年を決める。	A	
学校関係者評価	考 察 ・挨拶、返事、靴そろえは、家庭でのしつけとして取り組んでいくべき。大人自らが示す。 ・「豊かな心のある子ども」のための地域を巻き込んだ活動が大変充実している。学校から地域へのフィードバックもまめに行われていて良い。 ・地域での取り組みに子どもだけでなく、保護者ももう少し積極的に関わってほしい。 ・コロナ禍で活動が制限されている中、工夫して取り組んでいる。									改善策等	・特記事項なし			

評価のめやす 評価点は最高5.0 中央値3.0 最低1.0 / A:よくできている B:だいたいできている C:課題がある D:課題が多く速やかな改善が必要

重点目標	観点	具体策	保護者		地域		児童		教職員			総合評価	関係者評価
			評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	記述等(■は来年度に向けての改善点や変更点)		
			(1)知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	食の学習を年1回は行う。	お子さんはバランスを考えて食事をしていっている。	3.0	-	-	バランスを考えて食事をする事ができましたか。	4.0	給食指導と食の学習を関連付け、日々の指導を充実させた。		
(2)思考力・判断力・表現力等 (理解していることやできることをどう使うか)	交通安全教室、通学路の安全点検、下校指導等を実施する。	渡津小の子どもたちは、交通ルールをよく守っている。	4.0	渡津小の子どもたちは、交通ルールをよく守っている。	4.2	安全に気を付けて登下校することができましたか。	4.4	交通安全教室、通学路の安全点検、下校指導等を実施した。	4.3	○見守りボランティアの方が手厚く見てくださっていてありがたい。	A		
(3)学びに向かう力・人間性等 (どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか)	体力、運動能力の向上を図る。	渡津小は、子どもたちの体力の向上に取り組んでいる。	4.0	渡津小は、子どもたちの体力の向上に取り組んでいる。	4.2	外遊びをしたり、体を動かす遊びをしたりして元気に過ごすようにしていますか。	4.5	マラソンやなわとび等、全校で体力の向上に取り組んだ。	3.6	○児童総会での要望をもとに、サッカーのゴールネットの更新、一輪車練習場の整備を行った。休み時間に校庭でしっかり体を動かして遊ぶ児童が多かった。 ■ファンラン実施時期は講師の都合、熱中症の危険を避けること、大きな学校行事のない時期などを探り、継続的な練習成果が期待できる時を検討する。	A		
学校関係者評価	考 察									改善策等	・特記事項なし		
	・「健やかな体の育成」のための、設備の改善や行事設定が工夫されており、児童の健康的な週間形成が促されている。 ・食については、学校での食育だけでなく、保護者の家庭での食事作り、手本が必要。 ・体力向上のためにマラソン、なわとび、ファンランなど、体を動かすことに積極的に取り組んでいることがよく分かる。												

評価のめやす 評価点は最高5.0 中央値3.0 最低1.0 / A:よくできている B:だいたいできている C:課題がある D:課題が多く速やかな改善が必要

重点目標	観点	具体策	保護者		地域		児童		教職員			総合評価	関係者評価
			評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	評価の観点	評価	記述等(■は来年度に向けての改善点や変更点)		
			4 開かれた学校づくりの推進	(1)学校評価の活用	学校評価項目の改善や評価システムの周知を図る。	-	-	渡津小では計画的に評価委員会が実施され、教育活動の改善に向けた取り組みが行われている。	4.1	-	-		
(2)情報発信の工夫	積極的な情報発信に努める。	渡津小は、学校便り・学級便り・ホームページ・連絡メール等を活用し、児童の様子や学校の方針を伝えるよう努めている。	4.5	渡津小は、学校便りやホームページ等を活用し、児童の様子や学校の方針を伝えるよう努めている。	4.7	-	-	学校便り・学級便り・ホームページ・連絡メール等を活用し、児童の様子や学校の方針を伝えるよう努めた。	4.4	○学校の状況等を丁寧にお知らせすることを心掛けている。高い評価をいただけたことはありがたい。連絡メールは保護者の方に100%の加入をしていただいていることも、学校として大変ありがたい。	A		
5 キャリア・パスポートの活用	(1)18年間を見通した子どもづくり	キャリア・パスポートの取り組みを年間計画に位置付け、適時の振り返りで自己の成長と課題を見つめさせる。	-	-	-	-	キャリア・パスポートで振り返りができましたか。	4.1	キャリア・パスポートの年間計画に沿って、計画的に実施した。	4.1	○江津中学校区では4つの基礎的・汎用的能力(つながる力、見つめる力、やりぬく力、かなえる力)の中の「つながる力」と「やりぬく力」を共通重点項目とすることを決め、年間計画に沿って実施することができた。	A	A
(2)交流と接続	近隣の施設や学校との交流を効果的に実施し、保幼小中の接続が円滑に行えるようにする。	-	-	-	-	-	-	保小中等、校外の施設との交流や見学を計画的に行った。	3.0	○コロナ禍により実施が難しかった。しかし中でも、清和養護学校とのひまわりプロジェクトではリモート交流の準備をしてくださり、直接対面ではなかったが、できる範囲での交流をすることができた。5年生の渡津保育所交流も、3学期に実施できた。	A		
学校関係者評価	考 察									改善策等	・特記事項なし		
	・地域や保護者の意見に耳を傾け、「開かれた学校づくり」がなされている。情報発信は十分であり、効率化を検討する必要あり。 ・コロナ禍で学校行事に参加できなかったが、学校便りでお知らせいただき、大変嬉しい。 ・キャリア・パスポートの取り組みが将来につながることを期待。												

評価のめやす 評価点は最高5.0 中央値3.0 最低1.0 / A:よくできている B:だいたいできている C:課題がある D:課題が多く速やかな改善が必要